



生産監視パッケージ e-LIoT
無線通信モデル

EL-AA2J-M110W□
EL-AA2J-M112W□

概要

この簡易ガイドには、e-LIoTで装置の監視を始めるための設置・配線方法及び初期設定手順が記載されています。

安全上のご注意

本製品のご使用に関しては、別紙「安全上のご注意」をよくお読みください。

●内容物をご確認ください

内容物	ベース版タイプ	ブラボックスタイプ
e-LIoT 本体		
無線ユニット子局、 ペンシルアンテナ	1~8台 (型式によって個数は異なります)	
ケーブル グラウンド	—	大小 各1個 ケーブル差込口保護用の部品です。 取付方法はスタートアップマニュアルを参照ください。
取付用ネジ	4個 (M5、長さ12mm)	—
必ずお読みください	○	○
簡易ガイド (本書)	○	○

●別途ご用意いただくもの

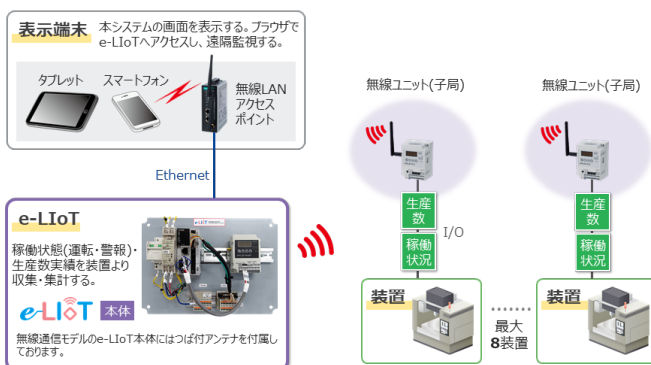
ご用意いただくもの	仕様
無線LANアクセスポイント*	最大通信速度：54Mbps以上
タブレット、 またはスマートフォン	ディスプレイ解像度：フルHD(1920*1080)以上 ブラウザ：Google chrome Ver83以上もしくは Safari ver.605以上が動作すること
LANケーブル	CAT5e以上のストレートケーブル

※推奨品あり。詳細は「無線モデル_スタートアップマニュアル」を参照ください。

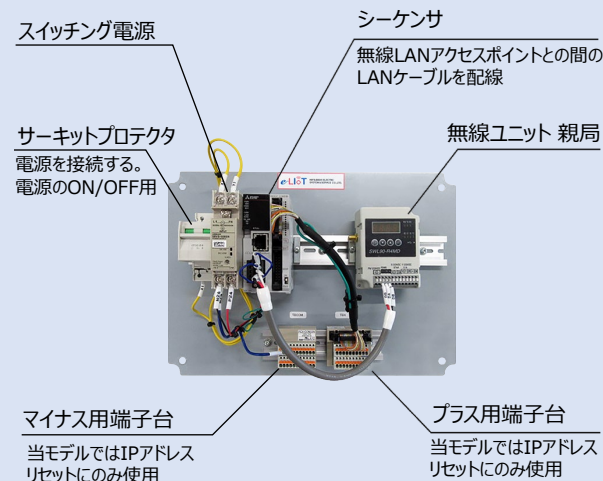
構成図

e-LIoTは下図のような機器構成で装置の監視をおこないます。

※スタンドアロン(独立したネットワーク)環境での使用が前提となります

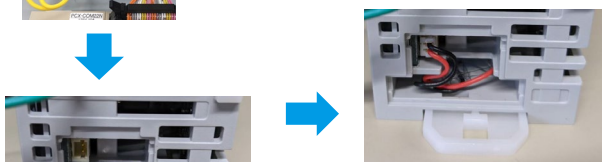


各部の名称



1 内蔵バッテリーの接続

① シーケンサの「DINレール取付用フック」をマイナスドライバーなどで下に引き出し、シーケンサをDINレールから取り外します。

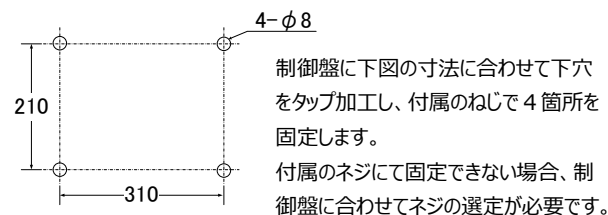


② 本体下部の蓋を開けます。

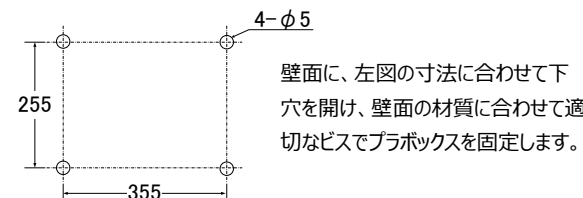
③ コネクタは未接続状態となっていますので、上図のようにコネクタを差し込んで蓋を閉じ、元のようにDINレールに固定します。

2 本体の取り付け

<ベース板タイプの場合>



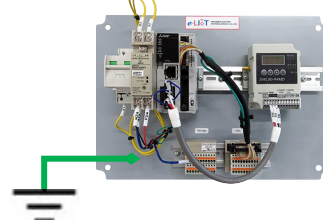
<ブラボックスタイプの場合>



3 配線

作業を誤った場合、感電、機器の破損の危険があります。「必ずお読みください」をよくお読みください

①アース線の配線



感電、誤動作を防止するため、FG端子用ネジ穴に丸端子で接続したアース線をD種接地します。
結線方式：ネジ式
ネジサイズ：M4

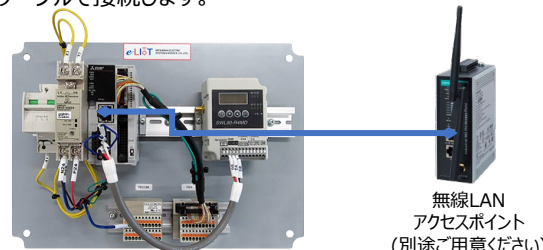
②電源の配線



AC100Vの電源線を圧着端子(丸端子)でサーキットプロテクタの一次側端子に接続します。
結線方式：ネジ式
ネジサイズ：M4

③LANケーブルの配線

無線LANアクセスポイントとシーケンサのLAN端子をLANケーブルで接続します。

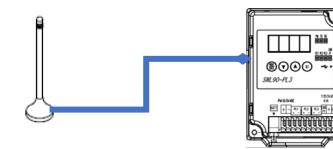


無線LAN
アクセスポイント
(別途ご用意ください)

3 配線 (つづき)

④無線ユニット親局へのアンテナケーブルの配線

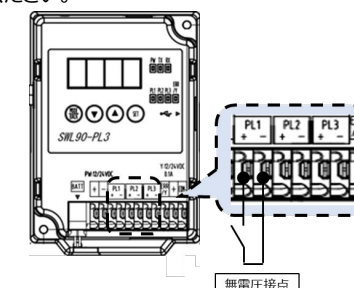
無線ユニット親局に、つば付きペンシルアンテナを接続します。アンテナ本体は制御盤外に設置してください。



⑤無線ユニット子局への入力信号線の配線

端子台に電圧を印加しないでください。機器を破損する恐れがあります。

無線ユニット子局の入力端子に、装置からの各信号線を接続します。ユニットの端子台はスクリューレス端子台となっています。詳細についてはSWL90-PL3のユーザーズマニュアルを参照してください。



(※装置1の実績数入力を配線した例)

装置	無線ユニット	端子	信号名称
1	1台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
2	2台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
3	3台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
4	4台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
5	5台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
6	6台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
7	7台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号
8	8台目	PL1	生産数実績入力信号
		PL2	運転信号
		PL3	警報信号

関連マニュアル

ハードウェア設置の詳細については下記URLのマニュアル(X90-W200955)を参照ください



<https://www.melco.co.jp/business/e-iiot/index.html#manual>

4 IPアドレスの初期設定

① e-LiOTの電源を入れる

サーキットプロテクタのスイッチをOFFからONにし、e-LiOTの電源を入れます。(初回電源投入時、内蔵バッテリーが長時間未接続だったことによりシーケンサのエラーランプが点灯しますが、電源を入れ直すことで消灯します。)

② タブレット (PC) のIPアドレスを設定

※ 無線LANアクセスポイントのDHCP機能 (IPアドレス動的割り当て機能) はOFFに設定してください

e-LiOTのIPアドレスは、出荷時は以下の値となっています。

e-LiOT本体 初期IPアドレス

192.168.0.20

※ 初期IPのまま運用を始める場合は、タブレットのIPアドレスを“192.168.0.*”に設定し、「③タブレットからe-LiOTへ接続」の手の順の後、「5 時刻合わせ」に進んでください。

タブレットをe-LiOTに接続するため、タブレットのIPアドレスを一時的に変更します。

タブレット 一時IPアドレス

192.168.0.100

③ タブレットからe-LiOTへ接続

タブレットのWEBブラウザを起動し、以下のURLへアクセスします。

<http://192.168.0.20/user/index.html>

④ 初回ログイン



以下のユーザ名、パスワードを入力してログインします。

ユーザ名 : user
パスワード : abcd1234%

メインメニューに切り替わります。



4 IPアドレスの初期設定 (つづき)

⑤ e-LiOTのIP設定画面を開く

メインメニューから「初期設定」、「IP設定」の順にクリックし、IP設定画面を開きます。



⑥ 新しいIPアドレスを設定

IPアドレス欄にe-LiOTの新しいIPアドレスを入力し、登録ボタンをクリックします。



変更したIPアドレスは記載欄に記入して忘れないようにしてください。

e-LiOT本体 変更後IPアドレス

⑦ e-LiOTの再起動

サーキットプロテクタをOFF、ONと操作し、e-LiOTを再起動します。

⑧ タブレットのIPアドレスを変更

お使いの環境に合わせて、タブレットのIPアドレスを変更します。

⑨ e-LiOTにログイン

新しいIPアドレスを含んだURLにアクセスし、e-LiOTにログインします。

[http://\[新しいIPアドレス\]/user/index.html](http://[新しいIPアドレス]/user/index.html)

5 時刻合わせ

① 時刻設定画面を開く

メインメニューから「初期設定」、「時刻設定」の順にクリックし、時刻設定画面を開きます。



時刻を入力後、登録ボタンをクリックします。

6 監視対象装置の選択

① 初期設定画面を開く

監視対象の装置が初期表示されるので、配線した監視対象の装置に☑を付け、装置名を入力後、登録ボタンをクリックします。



以上で、e-LiOTで監視を始めるための初期設定は完了です。

関連マニュアル

ソフトウェア設定の詳細については下記URLのマニュアル(X90-W200951)を参照ください

<https://www.melco.co.jp/business/e-liot/index.html#manual>



7 通信確認

① 通信確認画面を開く

配線、および設定が正しいことを確認するため、メインメニューから「通信確認」をクリックして通信確認画面を起動します。

7 通信確認 (つづき)

機種	実績	遅延	停止	警報	通信
本体 I/O 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OK
本体 I/O 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OK
本体 I/O 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OK
リモート I/O 1-1	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 1-2	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 1-3	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 1-4	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 2-1	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 2-2	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 2-3	OFF	OFF	OFF	OFF	NG
リモート I/O 2-4	OFF	OFF	OFF	OFF	NG

※ 実際の画面とは異なります。

設定した装置の信号ON/OFFが表示されていることを確認します。

8 e-LiOTによる監視

ここでは、e-LiOTの代表的な画面について説明します。

・進捗監視

※ 「計画値設定」が必要で



生産数の計画と実績をグラフ表示します。全体・作業直毎の実績/計画、これまでの生産数の推移や生産ペース・予測の残時間などを容易に確認することができます。

・稼働監視



装置の稼働状態の推移をタイムチャートとしてグラフ表示します。設備名称をクリックすると設備稼働状態の詳細グラフを表示します。

お問い合わせ先

よくある質問、問い合わせ窓口などは下記URLを参照ください。

<https://www.melco.co.jp/business/e-liot/>

X90-210152

2021年5月作成

許可なく、本ガイドの無断転載をしないでください。
e-LiOTは三菱電機システムサービス株式会社の登録商標です。
その他、本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。